

文化芸術団体の活動報告等

(五十音順)

団体名	内 容
愛歌会	香川県発の創作的舞踊/舞踏の流儀を模索、試行しています。古今東西の楽曲に振りをつけ、県下の名士（有技能者や有望な新人）等に賛助協演いただき、和洋楽器生演奏にて創作舞を披露する愛染流儀創作新舞踏『和すとリア』シリーズも、2024年秋、8年目となる公演をかがわ文化芸術祭参加にて開催させていただきました。（11/9『和すとリア9』開催予定）瀬戸内国際芸術祭が開かれる本年も、県発の創作的活動に積極的に取り組み研鑽と試行を重ねてゆきます。
庵治踊り保存会	高松市の文化財に指定されている、庵治踊り日本扇は、二本の扇を1本ずつ持って踊る踊りで、扇の回し方に技法があり、扇を持って踊る踊りの中では珍しい踊りです。現在では、会員も高齢化が進んでおります。本年も新会員を募集する予定です。
一絃琴一遙会	創立30周年記念演奏会に、作曲家で演奏家の水川寿也先生をお招きし作曲依頼した「沙弥の山」「丹頂鶴」「白峯」を演奏。又、新作初演の「阿吽」をご披露いただき感激しました。終曲「白峯」は、10年前に白峯寺で崇徳天皇850年御忌法要の折に献奏。法要後三好住職が次のような御挨拶をなさいました。「天皇の行幸の折はアクセント続きでしたが、今日は朝から快晴。頓聖殿にひびく清らかな琴の演奏を聞いておりますと、崇徳天皇の怨念はもう消滅したのではないかと思います。」まさに、音楽の力ではないでしょうか。音楽の力を信じ、これからも一絃琴を弾き続けたいと思っています。
一期一絵	当会は1970年代に高松高校美術部に所属していた有志約20名で作品展を開催しており、2024年に第5回目を迎えました。作品は油絵や日本画、水彩画をはじめ多種多彩で、同窓生や地元の方々など多くの来場者との交流も盛んです。会員は60歳代70歳代で、県外在住者も少なくありません。高校時代の気概を忘れず、それぞれの環境において日々新たな気持ちで制作に取り組んでおり、2年後次回展での再会を期しているところです。
一般財団法人宇多津町振興財団 ユープラザうたづ	2024年度はユープラザうたづハーモニーホールの特定天井耐震化工事のため、2024年4月より閉館（ハーモニーホールのみ）していましたが、予定より早く工事完了したので2025年1月12日（日）より再開予定となりました。一般の利用開始は2025年1月15日（水）からとなります。
Sプロジェクト	10周年記念コンサートでは県知事にご来場いただき、出演者、スタッフ一同大喜びで終演することができました。今後もサクソフオンを県民に知っていただく、また子どもたちへの教育を目標とし続けていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
S K G ジャズオーケストラ	2023年からようやく活動を再開し、演奏する機会も増えてきました。ただ、以前に比べ、若いメンバーの参加が無く高齢化が進み、定期演奏会も現在のところ目途が立っておりません。芸術祭に参加出来るよう頑張っていきたいと考えております。
桜華書道会	2020年から私たちは「書彩」という月刊書道誌を発行し始め、日々の研鑽を重ねながら、9月には5回目の書彩展という公募展を開催することができました。会場をテーマに沿って装飾し、山野草と共に展示する作品展は好評を得ております。また日々の稽古では、漢字、仮名、近代詩文書、前衛書など様々なジャンルの書を広く勉強し、幼小中高大学生など若い世代から高齢の方までその魅力を一緒に楽しみながら、常に新しい作品を創造するよう励んで参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
岡田おどり保存会	2025年度は町、市のイベントは全て出演をと考えています。尚、新入会員を募集することと、小学生に教えることに力を入れたいと思っています。

団体名	内 容
オルタナティヴ	オルタナティヴは2024年に結成10周年を迎え、12月には記念となる第6回演奏会を開催致しました。私たちを応援してくださる方も年々増え、また、これまで合唱演奏会に行ったことがなかった方からも多く問い合わせがあり、盛会に終わることができました。合唱の魅力を広く知っていただき、香川県の文化振興に貢献できたと思っています。今後もこれまでの合唱のイメージを超えた、音楽の奥深さを感じられる演奏会を目指して、活動していきます。
絵画造形教室アトリエK	「丸亀市文化推進賞」を受賞いたしました。永年やってきた子供達の作品展示や育成、アートボランティア活動で文化芸術を介して人と人との繋がりを創出したことを評価いただけたようです。古希になる直前の受賞は、人生百年の時代にとっても励みとなりました。私はまだまだ今からだと勇気をいただきました。最近九十七歳の方も講座に通ってくださっています。幼児からお年寄りまで、これからも一緒に楽しくアート活動を続けるつもりです。
香川音楽連盟	香川音楽連盟では、県内の音楽家及び指導者との連携によって香川ジュニア音楽コンクール及び香川音楽コンクール等を開催し、次代を担う青少年の演奏技術の向上を図り、香川県の音楽文化の振興に資することを目的に活動しております。
香川風の会	香川風の会では、写真を楽しむことを第一に親睦と交流を大切に活動しております。2025年は、第42回の写真展を計画し、これに向かって会員各自の感性によって、個性的な作品づくりを目指しています。
香川県歌人会	香川県歌人会は短歌を愛好する者なら誰でも参加できる超結社の集団です。年4回の「香川歌人」の発行、月1回の歌会（やまなみ共催）をメインに活動しています。県内外から幅広く募集をし、短歌の隆盛を目指す香川現代短歌賞を創設しました。
香川県歌人協会	会誌「短歌海流」を隔月発行。年間賞として短歌海流賞を決定、表彰。2024年24回短歌海流賞の受賞者は、横田千加子さんに決定。6月2日開催の総会において表彰、記念歌会も開かれました。
香川県合唱連盟	1960年に組織され、ジュニアから中・高・おかあさん一般団体の50団体で活動しています。講習会やコンクールの行事だけでなく、夏と冬には合唱祭を実施しています。これからも、心豊かに歌い、感動を伝える喜びを分かち合いながら、合唱の輪を広げていきたいと思っております。
香川県かるた協会	私たちは、百人一首競技かるたを愛好するグループです。一般社団法人全日本かるた協会に所属し、かるた技の向上のため、切磋琢磨しています。メンバーは小学生から中・高・大学生、一般と多岐に渡り、他県の方と一緒に練習したり、大会で挑戦したりと交流も盛んです。様々な方々と対戦する中で、自分の強みと弱みを知り、相手より100分の1秒速く払うため工夫を続けています。競技かるたに興味のある方は、ぜひ日曜日、高松興正寺別院にお越しください。
香川県漢詩連盟	4年に一回まわってくる四国漢詩連盟の香川大会を2024年10月5日に善通寺市の旧借行社で開催しました。155首の詩篇の応募があり、作品集を刊行するとともに、特別賞を受賞した9首の吟詠を実施しました。大会後は借行社カフェで懇親会を実施し好評でした。
一般社団法人 香川県カラオケ連盟	当会は、昭和59年に香川県内のカラオケグループが集まり、中四国で初めて団体を設立、四国新聞をはじめ読売、朝日新聞に掲載されました。平成30年8月15日に一般社団法人（非営利法人）として登録し、現在に至ります。行事は年2回のカラオケ発表会（香川歌謡フェスティバル）を開催し、香川県内の歌謡教室・カラオケ喫茶等で口遊んでいる楽曲を大きなステージで発表し歌唱する方、また鑑賞側も楽しく元気になる場を提供しています。

団体名	内 容
香川県吟剣詩舞道総連盟	私たちの吟剣詩舞道部門は、吟詠家・徳田寿風氏が2024年度香川県文化功労者として表彰されました。このことは県内外で高く評価されています。これを好機とし、2025年はいよいよ香川県で第49回全国高等学校総合文化祭が開催されます。吟詠剣詩舞部門は7月27日(日)三木町文化交流プラザで発表いたします。吟詠界の明日を担う高校生の活躍に期待し、全力で応援致します。そして、この若い力が伝統文化の吟剣詩舞道を継承してくれることと強く希望しています。
香川県高等学校教育研究会 美術・工芸部会	2025年度は、夏にスキルアップ事業として、全国の先生との交流や、現代美術家の先生にご講演いただき、部会員の知見を披露目、資質、指導力の向上のための貴重な機会になりました。
香川県三曲協会	香川県三曲協会では、昭和50年9月県下の箏・三絃・尺八の指導資格を持つ会員200名で発会しました。2025年で発会して50年となります。ついでに、創立50周年記念演奏会を2025年9月7日(日)レクザムホール小ホール(12時30分開演)で開催しますので、お聴きいただきますようよろしくお願い申し上げます。また、三曲協会では、会員による演奏会や地域における文化活動、学校機関への出前講座やミニコンサートの開催など積極的に活動し、香川県の文化芸術の振興に寄与したいと思っております。
香川県能楽会	日本の古典を知り、謡い舞ってみませんか。
香川県立東山魁夷せとうち美術館	当館は2025年度に開館20周年を迎えます。現在は館内照明設備等の改修工事のため休館していますが、2025年4月にはリニューアルオープンする予定で準備を進めています。リニューアルオープン後には皆様にぜひ足を運んでいただければ幸いです。
香川第九実行委員会	ベートーヴェン第九交響曲が初演されてからちょうど200年。2024年11月10日にレクザムホール大ホールで36回目となる「かがわ第九」演奏会を開催いたしました。2025年は12月7日に開催を予定しております。長年にわたり委員長を務めていた中西様の急逝に伴い選任された渋谷委員長のもと、香川第九実行委員会の新しい船出の年となります。改めて皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。
香川町農村歌舞伎保存会	香川県農村歌舞伎保存会では、通常どおり、4月の東谷ふれあい交流祭、9月の敬老会、11月の文化祭と農村歌舞伎祇園座公演を開催することができました。また、2025年1月には初めて川東小学校の児童による校内発表会も予定しており、今後とも活発な活動を展開してまいります。2025年が皆さまにとって輝かしい年となりますよう、心からお祈りいたします。
香川二期会合唱団	香川二期会合唱団は1960年7月に声楽研究団体「香川二期会」の付属合唱団として発足し、高松市を拠点に活動して65年目になります。1967年に第1回定期演奏会を開催し、2025年7月6日に第57回定期演奏会をレクザムホール小ホールで開催します。若いメンバーも加わり、毎週火曜日に楽しく練習しています。新入団員募集中！いつでも見学大歓迎です。詳しくはホームページをご覧ください。
合唱団ミュージックウェイ	合唱団を結成してから、2025年で29年目に入ります。毎年、秋に開催しておりますコンサートをはじめ、園や学校、施設への訪問、地域の行事など今まで数多くの演奏をおこなってまいりました。2025年のコンサートも(ここ)レクザムホールの小ホールにて、11月1日(土)14時～開催する予定です。どうぞ、皆様のお越しを団員一同、心よりお待ち申し上げます。

団体名	内 容
賀茂神社長床神事保存会	近年人口の減少に伴い、適齢の頭人5人を集めることと、小学生6人による舞酌を集めることが年々難しくなっております。
KIDS DANCE PARTY実行委員会	2024年、KIDS DANCE PARTY10thは三木町文化交流プラザにて総勢120名出演、キッズダンスワールドを開催しました。「Babyから大人までダンス！」をテーマに、幅広い世代にダンスの楽しさを伝えていきたいと思っています。2025年は12月14日（日）ユープラザうたづにて開催予定です。
琴城流大正琴振興会 香川さぬき支部	琴城流大正琴香川さぬき支部は令和5年10月に第11回の支部大会を開催し、県内全域で活動している教室の会員が参加し、日頃の成果を発表しました。隔年開催の為、大会に寄せる思いも強く、皆心から楽しみ、充足感に満たされました。来場者の方もバラエティーに富んだプログラムで楽しんでいただけましたと思います。今後も、活動を更に発展させて、大正琴の魅力を伝えていきたいと思っています。
劇団 玄	かつて劇団四季の一員として上演の経歴を持つ蓮井玄雄が主宰する、ミュージカル劇団 玄は、2022年に劇団を立ち上げ、2023年に旗上げ公演として、「閻魔様の家出」をレクザムホールで上演。2024年には第2回公演「老婆の休日」をおなじくレクザムホールで上演。2026年1月18日（日）には、第3回公演「閻魔様の家出Ⅱ」をサンポートホール大ホールで上演します。現在団では団員を募集中です！！
現代舞踊研究会「土曜族」	昭和41年の発足以来、香川の伝説や情景などを素材にモダンダンスの創作、発表を続けています。国民文化祭、かがわ文化芸術祭、高松市のアーツフェスタ、地域の文化祭などに、教員、会社員、保育士、学生などから成るメンバーで、楽しく参加させていただいています。
絃和会	2024年11月17日、かがわ文化芸術祭2024参加公演「古典に親しむ地歌箏曲演奏会」は盛会で終えることができました。途中10分間の休憩をはさむ2時間の上演時間の間、ひとりのお客様も立つことなく、熱心に聞き入られていました。終曲の30分の大曲「八重衣」では「空気が変わったように感じた」とか「あつという間の30分だった」という感想をいただき、主催として最後まで熱心に観賞くださったお客様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも地歌箏曲の古典の素晴らしさをひとりでも多くの方々へ広めていけるよう精進を続けます。
KOH(歌集団KOHより変更)	2019年にクラシック、ミュージカル、ジャズ等ジャンルを問わず演奏活動をしようと発足した声楽グループです。2024年の活動では、10月20日香川県文化会館芸能ホールにて「歌でつづるノスタルジーとロマンス」として中田喜直、ドヴォルザークの歌曲集、ヴェルディやモーツァルト、グノー等のオペリアリアや重唱のコンサートを開催しました。
香翠座デコ芝居保存会	香翠座は高松市円座町に伝わる人形浄瑠璃の一座です。2025年で192年になります。2024年11月に「かがわ郷土芸能フェスタ2024」に出演させていただきましたのを、はじめ地元円座で「円座学校地区文化祭」に栗林公園の梅まつり、菖蒲まつりに出演しました。栗林公園では、毎年2回公演する予定です。人形芝居は1体の人形に3人の人が必要です。現在座員が不足しています。皆様の中で興味がある方、一緒に人形芝居をしませんか？

団体名	内 容
特定非営利活動法人 国際架橋書会（総括本部）	毎年全国展として「国際架橋書展」を文化庁、中国大使館、東京都、香川県、岡山県、その他の後援により、国立新美術館で開催。なお「国際架橋書会選抜展」銀座東京鳩居堂画廊で毎年開催。2025年で32回展開催した。本会は「革新と伝統と実験と」を基本理念とし、会員はこのテーマを主題に出品作品を研究します。 作品部門は、会員、公募、学生、福祉、海外部門に分別され、作品審査は、内部審査後外部審査（美術評論家）を経て入賞決定します。
国分寺町文化協会	国分寺町文化協会は45の団体、グループが加盟し文化芸術活動に取り組んでいます。文化祭は11月第二土日に国分寺ホールで開催し、保育所、幼稚園、小中学校の子どもから大人まで参加し、作品展示、踊り、歌、楽器演奏、高齢者の発表、菊花展、バザーなど盛りだくさんの催しで2,000人以上の参加があり盛況でした。また新春文化芸能公演は1月5日南ファミリー劇団の親子人情劇を公演しました。
cocokara japan ART	cocokara japan ARTは、無審査・無償の大規模美術公募展を開催し、アーティストの自主的な作品発表を支援しています。2023年の公募展は12月8日から10日まで高松市美術館で行われ、地域のアート意識向上を目指しています。また、アートを通じてアイデンティティの表現や交流の場を提供し、療養生活を送る方や子供たちの自己表現を促進することを目指しています。
混声合唱団ア・カンターレ高松	2005年に結成された「混声合唱団ア・カンターレ高松」は、団員数47名、男女比、パート比共にバランスの取れたアマチュア混声合唱団です。結成以来ほぼ同じ顔ぶれの私たちは、不動のメンバーだからこそ紡げる美しいハーモニーと、同じ歩幅で寄り添ってきたからこそ共有できる温かい歌心を大切にしつつ高い芸術性を追求して毎月2回練習を行っています。定期演奏会は2年に1度開催し「春の音楽祭」や「香川県合唱祭」にも出演しています。
近藤バレエ研究所	1940年四国のクラシックバレエの草分けとして、日本でも屈指の85年の長い歴史と伝統を継承し、丸亀を中心に活動。文化庁芸術祭賞受賞の安達哲治氏や、Youth America Grand Prixニューヨーク決選世界一位受賞の三宅啄未等、優れた振付家やダンサーを輩出。初心者からプロを目指す方まで、楽しく丁寧な指導を通して、自立心と個性を養い、社会人としての常識を兼ね備えた責任感のある人物を育てることモットーとしています。
坂出緩衝緑地管理事務所（指定管理者：五栄カイリク株式会社）	坂出緩衝緑地管理事務所の秋の恒例行事となりました第18回木の実アート展を11月5日（火）から10日（日）まで6日間の日程で坂出市の番の洲公園において開催しました。 期間中は約1,200人が来場し、作者の発想の素晴らしさに感心した旨の声を多くいただきました。 また、当日はアート作品の展示のほか、木の実を使ったクラフトワーク・やじるべえを作り、園内を巡るクイズラリー等を実施して、来場者の皆様に自然とふれあう楽しみや秋の訪れを感じていただけたと思います。
S A T Oの会	声楽家・林里美の門下生で構成される声楽グループ。本部を高松に置き、関東支部と隔年で公演を行うまでになり、今や国内のオペラ界をリードし、大活躍する会員を多数輩出し続けています。今回は、2025年2月23日（日）第22回となるコンサートを高松にて開催します。1部はオペラアリアや歌曲を、また2部では、ヘンデル生誕340年、ヨハンシュトラウスⅡ生誕200年を記念し、バロックオペラと喜歌劇「こうもり」の抜粋を披露します。
珊々会	「第二十八回珊々会書作展」は、丸亀の施設が無くなることで、善通寺市美術館で開催致します。初めて、孫弟子を含む子供達も参加しての企画となりました。少子化のこの時代、書を通して世代を繋げる必要も感じてのことです。日本の立派な文化である書道を次の世代に力強く渡していくことの大切さを実感しています。このことは、書家としての製作と共に重点目標だと思える今日この頃です。四月四・五・六日に、ぜひご来場ください。

団体名	内 容
四国二期会	明けましておめでとうございます。四国二期会は、設立52年を迎え、2025年は第50記念オペラ公演を9月に予定しています。これからも四国のオペラを牽引してまいります！よろしくお願いいたします。
四国民踊研究会	四国民踊研究会です。恒例のさぬき民踊まつりは「民踊を通じてお互いの和を図り、ふるさとを再認識しよう」と継続しています。2025年は、第52回を、8月17日(日) 午前11時～午後4時30分で開催致します。県内外の、民踊、新舞踊の愛好家の方々が、サンポート大ホールに集合します。特に、最後の総おどりは「さぬきうどん音頭」を観客、舞台とが一つになり踊る予定です。8月17日、皆さんも一緒に「さぬきうどん音頭」を踊りましょう。お待ちしております。
史跡一夜庵保存会	享禄元年（1528年）に創立された俳諧の祖、山崎宗鑑の一夜庵は、2024年11月に全面的な改修工事が完了しました。市民や県民の皆様、又クラウドファンディングで寄付された全国の皆様に厚く御礼申し上げます。一夜庵全国青少年俳句大会についても、投句期限が迫っております。PRについてよろしくお願いいたします。
七宝古流本村夫婦獅子舞保存会	2024年1月14日豊浜道の駅イベントで披露、9月秋季大祭の練習開始、10月13日～14日天満天神宮大祭奉納、10月26日～27日浪打八幡宮大祭奉納、11月3日～4日毎年秋の大祭後には慰労会を開き1年間の締めくくりとしますが、2024年度は「中四国伝統芸能フェスティバルinしまね」に参加させていただき、3日は皆生温泉にて慰労会を開き、4日は島根県民会館で獅子舞を披露して参りました。お客様の感想は「迫力あるな」「獅子が凄い」と私たちににとっては嬉しい限りでした。
自由美術協会香川グループ	2024年は、毎年開催しています善通寺市美術館でのグループ展も記念の50回展を開催することができました。また、第88回自由美術展（東京本展・国立新美術館）では新人賞や佳作賞の受賞、新会員の誕生とメンバーの創作活動が認められました。本年も展覧会の出品や近県の自由美術会員との交流を通して、充実した作品制作、表現活動に取り組んでいきたいと考えています。
女子美術大学同窓会香川支部	2025年秋に、女子美術大学同窓会香川支部作品展を開催予定です。芸術を職業として活動されている方も、仕事や子育て、介護の合い間に制作されている方も、心ときめかして手を動かしているはずです。作品展の折、ご高覧いただけましたら幸いです。
一般社団法人新協美術会香川支部	私たち香川支部では年一回その年の秋、市美術館（市民ギャラリー）において、近作展と称し実施しております。今までは、本展の巡回展、裸婦デッサン会と催事も多くありましたが、会員の減少と持金の減少で出来なくなりました。
公益社団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団	瀬戸フィルハーモニー交響楽団は、設立以来、定期演奏会をはじめ自治体、企業などへの出張演奏や県内外の文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開しています。3月9日には、指揮に三ツ橋敬子氏とサクソフォン・上野耕平氏を迎え、上野氏本人の委嘱作品でもある逢坂裕作曲「アルトサクソフォン協奏曲」、ストラヴィンスキー作曲「火の鳥」1919版、バレエ音楽「ガイーヌ」より「剣の舞」で、第42回定期演奏会を開催いたします。
草月会 香川県支部	いつでも・どこでも・だれにでも…がモットーのいけばな草月流です。香川県支部は、2024年11月末に玉藻公園内披雲閣で隔年開催の支部花展を開き、いけばな体験教室や屋外の大型竹作品も含め、国内外からの来場者に好評を博しました。毎年春には岩田神社で花展を開きます。竹作品の依頼を受けて、2024年に続き9月に海岸寺で夕波まつり用の作品を作り、年末は、岩田神社で迎春用竹作品を制作展示する予定です。身近な日本の伝統文化として草月いけばなを広めていきたいと思っております。

団体名	内 容
箱絃会	毎秋、栗林公園において社中公演を行っております。2024年は“秋の景色”2025年は“砧の音のきこえる夜は”とタイトルに添った曲を演奏しています。聞きにこられた方々にできるだけわかりやすく楽しい解説をしながら、古典や宮城曲を披露しております。
社団法人 創元会 香川支部	2022年まで毎年、高松市美術館の2階において、創元会巡回展を開催してまいりましたが、人数減少に伴い閉展に至りました。1956年より高松市美術館1階市民ギャラリーにて毎年、創元会香川支部展を開催しています。少人数ですが、春には東京の国立新美術館の創元展本展に出品して、数々の賞を頂いている者もおります。また、会員には日展に入選している者もいます。
高松映画ビデオ友の会	毎月第4土曜日 月例会開催 午前9時30分～ 会場 新開西公園管理事務所（高松市松福町）
高松交響楽団	2024年の主な活動 6/23 第130回定期演奏会 第5回高松国際ピアノコンクールにおいて2位に入賞された青島周平さんをソリストに迎えて開催。8/17～8/25開催の「アフィニス夏の音楽祭」に地元団体として参加（ホワイエコンサート他）11/2 トヨタカローラ春日店において高松交響楽団員によるトヨタコミュニティコンサートを開催。11/24 第131回定期演奏会 令和4年度香川県文化芸術新人賞を受賞したヴァイオリニストの真田大勢さんをソリストに迎えて開催。12/14 高松市美術館にて高松交響楽団員による映画音楽コンサートを開催。なお2025年秋（11/23）には島田バレエ団とチャイコフスキー「くるみ割り人形」全幕を開催します。
高松国分寺ホール	2024年は40余りの事業に取り組み、市民の皆さまの活動発表や企業様の研修会など賑わいのある1年でした。2022年秋に不具合のあった観覧席移動システムは本年3月に完全復旧し、4月からは平土間使用で幅広くご利用いただけます。再スタートの3月30日（日）にはアトリエ・シーラカンスによるミュージカル（シーラカンスカルテット生演奏）の公演が開催されます。
高松市図書館	サンクリスタル高松（中央図書館、歴史資料館、菊池寛記念館）は、平成4年の開館以来30年以上が経過し、施設等の老朽化のため、施設等の修繕や更新をするための「リニューアル事業」に取り組んでいます。リニューアルの詳細は、2025年3月に決定しますが、大規模な工事となることから、現在のところ、2025年のゴールデンウィーク前後から休館し、令和9年度第3四半期中のリニューアルオープンを目指して事業を進めております。
高松市美術協会	高松市美術協会では、毎年4月第2週に行われる市民美術展を中心に多くの行事に取り組んでいます。6月には、高松市市民文化祭アーツフェスタ「集展」を行います。また、年間を通しての各講習会や美術研修旅行を行い地域文化の発展向上に資するよう内容等に改善工夫を行い多くの参加者を集めています。2024年の第50回記念市民美術展は、286点の応募点数となり2024年の49回展の282点に比べ、出展点数で4点ほど増えました。また、賛助出品の「大切な下水道作品展」のマンホール作品、書道作品（高松市主催）および動物写生画（香川県獣医師会主催）に、今回新たに香川県主催の「愛鳥週間ポスター」の21点を加え68点の作品が展示され展示の総合計が354点と大幅に増えることとなりました。今後とも地域文化発展に力を尽くしたいと考えています。
高松市文化協会	1978(昭和53)年に創立。高松市の歴史や文化を紹介する冊子「文化たかまつ」を年2回発行しています。また、各種文化事業の後援、協賛、講座を開催することで、高松市の文化発展に貢献する活動を行っています。

団体名	内 容
ダンスカンパニー ウィズ	型にとらわれない個性豊かなコンテンポラリーダンスを創作。2023年4月に20回目の定期公演を終え、自然体でもっと自由にと活動の幅を広げ、2024年10月高松市美術館エントランスホールにて、染色家大川氏の協力を得てダンス+美術+観客と共に創るアートなひとときを成功させました。結成25年目となる2025年3月30日ミュージアムホールで第21回ダンスカンパニーウィズ公演開催予定。美術作家平野年紀作“木村久美子人型”がどんな形で登場するでしょうか。ボレロから始まり、坂本龍一音楽、谷川俊太郎詩朗読、ポルトゥギー作品収録音等々、多彩に自由に表現することで、芸術・文化の振興に貢献したいです。
独立美術四国絵画研究会	本研究会は、各作家が制作した作品の展示、各技法等の研究等を通じて地域文化の発展、向上に資することを目標にしています。毎年開催の「独立美術四国会展」は、四国在住の独立美術協会会員、準会員、会友、出品者の作品展示を行い、地域の芸術、文化の振興・発展に貢献します。また、展示期間内に行われる作品講評会を一般公開し、芸術作品の見方、表現の方法、油彩画の技術といった専門的な内容を広く公開し、市民の方に自由にご参加いただき、地域文化発展の一助になればと考えています。作品講評会の講師は、洋画部門において芸術院会員や国内外で活躍している洋画家や大学教授など日本を代表する方をお招きし、講評会に参加の聴衆の方々の参考になる内容を行っています。
都山流香川県支部 都山流尺八「都香社」	都山流尺八「都香社」では、2025年12月7日（日）レクザムホール小ホールにおいて、創立65周年記念演奏会を開催します。ゲストに尺八、坂田梁山師を迎え、県内絃方の協力のもと、多彩な曲を繰り広げます。
二科会写真部香川支部	二科会写真部香川支部では、本部1953年（昭和28年）創立時の目的を理解し、常に写真芸術に対する新しい価値を創造することを旨としています。常に、東京で開催される本展に入選する作品制作を目指して、支部会や作品研究会などで研鑽を積み、本支部の活性化と発展を目指しています。
日本G. プッチーニ協会四国支部	指揮者・星出豊会長のもと、オペラ作品や作曲家について広く探求しています。隔年で、毎回テーマを決め、コンサートと公開講座を開催し高い評価を得ています。2024年は1月にコンサート、12月に公開講座を開催。12月は芸術祭参加公演にお認めいただき、オペラの歴史と作品を解説する映像と演奏を交え、会長の星出豊が講演しました。オペラがどのように人間の『いのち』を受け止め表現してきたか、出演者、観客の心に深く響く内容でした。
公益社団法人 日本舞踊協会香川県支部	2023年10月、日本舞踊が国の重要無形文化財指定され、日本舞踊の定義が明確になった今、残さなければならないものを大切にしつつ、新たなものを創造します。約110の流派、約3,500人の舞踊家が所属する日本舞踊協会の香川県支部を母体として「香川県日本舞踊連盟 和の会」を結成し、市のアーツフェスタに参加、啓蒙活動に努めています。
日本民謡・民舞東尾会 さぬきばやし保存会	世界中の方々に風光輝く瀬戸内、香川県の「民謡民舞」の魅力！！その発信を続けるグループです。2024年も、夏祭りや盆踊り、そしてステージでの披露やレクチャーなどを通じて生演奏（笛、三味線、太鼓）でご紹介し、大変喜んでいただき感謝しています。この流れに乗って、2025年も風土や生活に根づいた民謡の楽しさをたくさんお届けしたいと思っています。
俳句結社「磁石」香川支部	未来図、故鍵和田柚子師系、香川支部長故木村日出夫氏、師に俳句の世界に誘われました。「座の文学としての和を以て貴しとなす」と言われ五・七・五の俳句の持つ深さや意味を深く感じています。現在、柚子師系の「磁石」東京に本部あり、香川支部として俳句座を月に2回開かれ和なして俳人として各々の句を鑑賞できる喜びを感じています。高齢化は私共の句友にもそれなりに楽しんでます。

団体名	内 容
東かがわ市とらまるパペットランド	東かがわ市とらまるパペットランドは、～ふしぎ・おどろき・だいはっけん～人形劇の楽しさあふれるテーマパークです。2024年10月には当地人形劇文化の礎を築いた「とらまる人形劇カーニバル」が40周年を迎えました。2025年も人形劇場とらまる座での全国プロ劇団の人形劇公演や、海外劇団・大型舞台作品の特別公演などオモシロ企画もりだくさんで計画中です。皆様どうぞお越しください！
表現活動集団「玄～てんてこ舞い～」	私たちは老若男女25人で活動しているミュージカル集団です。2023年と2024年、「夢船」というタイトルでミュージカルを公演しました。これは江戸時代に活躍した、合田求吾という蘭学医と、藤村喜八郎という廻船問屋の二人の物語で、地域を支えたいという自分の夢を叶えるために、悲しみや困難に負けず、江戸時代を強く生き抜いた二人の挑戦者の物語です。歴史は私たちの身近なところで生まれ、現代へとその思いをつないでいます。しかし、時代の流れと共に、歴史は忘れ去られようとしています。その歴史を発掘したい、再認識したいという思いで公演を行いました。3年計画で、2025年も「夢船」を行います。8月17日（日）です。ぜひ、ご覧ください。
淵崎村里づくり推進協議会	淵崎村里づくり推進協議会は、2024年6月に「淵崎おんばたふる里美術展」と兼ねて「小豆島ふる里写生作品展」を開催し、島ゆかりの油絵等30作品と、小豆島の小・中・高生に作品募集をして、参加130点の風景等写生画を、おんばた会館に2日間展示をし、多くの鑑賞客に來館いただきました。10月には、小豆島の産業によく似た、兵庫県たつの市へ一日研修に行き、たつの文化に触れ、また新しい取組みを学ぶこともできました。2025年2月には、小豆島博物館にて、裏千家、立礼点前の「小豆島博物館茶会」を開催します。お茶会は13年、美術展と一日研修は18年間続いております。
邦楽 豊川会	古典曲から現代曲まで楽しみながら習得できるよう工夫し、又、発表の場を設けます。
蓬萊書道会	年間を通し、成人は中央展（日展、読売書法展等）や県内展（県展等）に出品。2025年は3名が日展入選。高校、大学生も活躍中。子供達（小・中学校生）は、書初展や各種展覧会で上位入賞し、活躍中です。
特定非営利活動法人 マイシアター高松	文化芸術というものに触れる経験は、子どもたち、また大人にとっても感性を育む素晴らしい機会だと考えています。より多くの親子に、たくさんの体験を重ねてもらいたい。そのために今後も活動できたらと思います。
一般社団法人 街角に音楽を@香川	2024年も「ミュージックブルーフェス」「大道芸フェスタ」「天空ミュージック」「真夏の夜の夢」など多くの事業を行えました。コロナ後という気配もなく、明るい笑顔に出会えて喜びを感じました。県民アリーナのオープニングセレモニー（2月24日）の音楽創作も予定しています。2025年も皆様に幸あれ！
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 公益財団法人ミモカ美術振興財団	2025年はいよいよ、大阪・関西万博そして瀬戸内国際芸術祭2025の年となりました。現在ミモカでは、4月からの猪熊展（香川県における猪熊画伯が残された功績を発信する大規模展覧会）、そして8月からの「瀬戸芸美術館連携プロジェクト」としての「大竹伸朗展」の開催に向けた準備を進めています。香川県の文化芸術の振興に寄与できますよう、職員一同頑張ります。
丸亀市少年少女合唱団	丸亀市少年少女合唱団は、平成14年4月『公共施設付きの合唱団』として結成。丸亀市主催事業をはじめ、定期コンサート、香川ジュニアコーラスフェスティバル等、多方面で活動。2025年度は、小豆島童謡音楽祭、芸能フェスタ丸亀、あやうた音楽祭等に参加。私たちは、これからも地域音楽文化の振興を図るとともに、『わがまちの少年少女合唱団』として、市民の皆様に、より一層親しまれる合唱団を目指し、努力していききたいと思っております。

団体名	内 容
丸亀市文化協会	<p>展示部会48団体、舞台部会49団体の計97団体で活動する文化団体。夏のうちに描こう絵画展は2025年20回目を迎え、新たに県内外のこどもたちや留学生に作品を募集し、集まった1855本全てを展示。特別展では、そのうち78本をうちわミュージアムに展示し、観光客にもアピール。秋には舞台部会や丸亀市内の中高生による舞台発表や親子向けワークショップも開催。また2025年の主催公演では、NHK交響楽団首席ホルン奏者をお招きし、関連事業として「N響金管メンバーによるクリニック」を開催。丸亀市内外の中学生吹奏楽部員を対象にご指導いただきました。</p>
湖の会	<p>現代詩「湖の会」。1980年春、明石旅夫の呼びかけに応じて6名が集合。「湖の会」を設立し作品発表の場として詩誌「湖」の発行を決定。同時に発行編集の代表として明石旅夫が就任、以後現在までに83号を発行。県内の詩人、マスコミ、公立図書館、国内の詩に関わる諸団体、個人との交流に努めています。メンバーの出入りはありましたが、原田道子、谷真理江、明石が中核となってゆるがず年間1回以上の発行を継続中。現在の同人16名の内、県外は8名。</p>
三豊市詫間町公民館	<p>当館では、三豊市文化芸術振興計画に基づき、子どもたちや市民が文化芸術に出会う機会を創出し、文化芸術に触れて心豊かに成長できるまちを目指し、本市文化芸術活動のシンボルである三豊市文化会館（マリンウェーブ）を利用し詫間町吹奏楽団によるコンサート、また宗吉かわら里を訪れ自らが暮らす地域の歴史や文化について理解を深めるとともに古代体験学習を行い地域への愛着心の醸成や将来に継承することを目的とした講座を開設しています。</p>
社会福祉法人銀河の会 ミルクィウェイ	<p>当法人作成の広報誌「銀河の会だより」をぜひご覧ください。</p>
吉田愛服飾専門学校	<p>学校創立85周年ファッションコラボレーション展を12月に終え、新たなスタートを切りました。様々な企業、団体と共に活動の幅を広げ進んでいきたいと思ひます。2025年のスタートは、リーバイスのデニムのリメイクで三越とのコラボです。春からの瀬戸芸も男木島：ドリームフレンズメンバーとして活動しようと思ひています。</p>
吉津夫婦獅子舞保存会	<p>吉津夫婦獅子舞保存会では、2022年までコロナ禍で活動停止状態でしたが、2024年に続き本年も、保存会4組による保存・伝承・奉納等の諸活動に取り組んでいるところです。</p>
レクザムホール(香川県民ホール) (穴吹エンタープライズ株式会社)	<p>日頃より県内芸術団体様には、レクザムホールをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。2025年も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
朗読流星群ライブ実行委員会	<p>朗読流星群として仲間が集まってもらい、また投稿者を募っての「文芸青い鳥」冊子の、第2号を2024年11月には発刊できました。全53作品中においての知事賞・市長賞・文芸青い鳥賞を11月24日にハミングブルーバード大会で表彰式を催し授与できたことも今後の一里塚の一つとなりました。この道標は今後幾つもあると思ひますが、厳冬の登山を敢行するような気持ちで、個人各々のクオリティーのある作品群一勢となり第3号へつなげたいと思ひます。</p>
和の調べ-飛天の会-	<p>和の調べ-飛天の会-は発足から25年を迎えます。常に芸の向上と観客の方々の心に届く演奏をと心がけてまいりました。2024年は例年以上に沢山の舞台に立たせていただきました。四季折々の栗林公園や台湾演奏家の交流会などの貴重な経験の中で、新しいものを取り入れつつ古き日本の伝統音楽に立ち戻り、皆様に日本らしさをお届けできるようにがんばってまいります。</p>